

**令和5年度 第1回  
元気県ぐんま21推進会議、群馬県地域・職域連携推進協議会 議事概要**

- 日 時：令和5年7月3日（月）14時～15時30分
- 開催方法：オンライン開催
- 出席者：元気県ぐんま21推進会議委員22名  
幹事 10名、検討部会委員5名  
事務局 健康長寿社会づくり推進課長ほか10名  
（出席者合計：47名、欠席者：推進会議構成員2名）

**【配布資料】**

- ・次第（名簿・席次表・設置要領）
- ・資料1 元気県ぐんま21（第3次）の骨子案について
- ・資料2 健康増進施策/地域・職域連携推進協議会について
  - ・令和5年度関連予算
  - ・地区地域・職域連携推進協議会
  - ・健康寿命延伸対策
- ・資料3 食育推進施策について
  - ・令和5年度関連予算
  - ・第4次群馬県食育推進計画
  - ・食育デジタル教材
- ・資料4 令和5年度の取組計画について（各所属の取組）
- ・資料5 報告・情報提供
  - ・第3次群馬県歯科口腔保健推進計画 骨子
- ・令和5年度第1回元気県ぐんま21推進会議議題に関する御意見について

**1. 開 会**

**2. あいさつ：健康長寿社会づくり推進課長**

- ・本日は、御多忙のところ、「元気県ぐんま21推進会議」及び「地域・職域連携推進協議会」に御出席くださりまして、誠にありがとうございます。
- ・今年度は県の健康増進計画である「元気県ぐんま21（第2次）」の最終年にあたり、最終評価、次期計画策定を進めている。
- ・本日は、「現在策定を進めている「元気県ぐんま21（第3次）の骨子案」について説明させていただきます。
- ・7月1日の上毛新聞にあったとおり健康経営が県内272法人で認められたというニュースも嬉しいニュースもあった。この内容も大切だと思っており、地域・職域連携推進についてのお話をしたい。
- ・更に食を通して豊かな人間性を育むことを目的として、食育につきましても、推進しているのでこちらについても説明したい。
- ・第三次群馬県歯科口腔保健推進計画の骨子について皆さんと共有したい。
- ・多くの内容があるが、皆様方からは忌憚のない意見を頂戴したい。
- ・重ねてのお願いで申し訳ないが、今日の会議が終わったのち、皆様のそれぞれの持ち場において、群馬県の健康増進が図られるよう、ご支援ご協力いただけると大変有り難い。

- ・それでは本日もどうぞよろしくお願いいたします。

### 3. 構成員紹介

人事異動により新たな構成員の方のみ紹介。

- ・群馬県保健所長会 窪田構成員
- ・高崎市保健医療部健康課 富澤構成員
- ・地方公務員共済組合群馬県協議会 下山構成員
- ・群馬労働局 芳賀構成員
- ・群馬産業保健総合支援センター 西谷構成員
- ・(公社)群馬県看護協会 浦構成員

### 4. 令和4年度第2回元気県群馬21推進会議 構成員からのご意見・回答

#### (1) 開催方法に関する御指摘について

前は、ハイブリッド開催で実施だったあったが、当方で保有している機材との兼ね合いもあり、現状、参加人数が多い会議ではハイブリッドでスムーズな運営が難しい状況である。

会議開催にあたっては、委員の皆様の利便性を考慮した上で、協議内容等を踏まえて開催方法を検討していきたい。

#### (2) がん検診の周知について

がん検診の周知につきまして、職域としても積極的に進めるにあたり、活用できる資材がないのかというご意見をいただいた。県のがん対策のホームページにも周知啓発に関するチラシ掲載しているので、ぜひご活用いただきたい。

#### (3) G-WALK+に関するご意見をいただいております。

企業が健康関連の事業を行う際、費用がネックとなることがあるとの指摘。県がG-WALK+のような無料のアプリを提供するという事は、企業において導入しやすいと思うため、メリットをもっとアピールしても良いのではないかとご意見をいただいた。

G-WALK+では、昨年度も企業対抗戦のような企業参加型のイベントも実施している。周知啓発を積極的に行ってアピールしたい。

#### (4) メンタルヘルスに関する取り組みについて

より一層の取組を期待するとのご意見をいただいている。先ほども浜崎委員長からもあったとおり、今年度は、来年度を始期とします次期健康増進計画を検討する。その中でもメンタルヘルスに関する取り組みにも留意して検討したい。

### 5. 議 事

#### (1) 健康増進計画「元気県ぐんま21（第3次）」について

事務局から、資料1に基づき説明。

- ・資料1 元気県ぐんま21（第3次）の骨子案について

(事務局)

都道府県の健康増進計画については、健康増進法の規定に基づいて、国が示す基本的方針「健康日本21」を踏まえて策定することが求められている。過日、5月31日に国より次期都道府県計画が参考とすべき第3次の健康日本21が示された。

全体目標としては、現在のものと変わらず、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を掲げている。この全体目標の達成に向けては、個人の行動と健康状態の改善、社会環境の質の向上、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり、この三点を掲げている。

県の第2次計画の現状については、多くが改善傾向にあり、そのことが全体の目標である健康寿命の延伸に繋がっているが、生活習慣病予防の指標である糖尿病性腎症による新規導入者数が悪化している。糖尿病有病者数はこちらについては、数値が悪化傾向にあり、引き続き本県としての重点的な課題かなと感じている

数字で把握困難となっているため、評価困難としている指標がいくつかはあるが、次期計画については、評価困難という指標は極力省きたい。

素案作成に向けて分科会や策定部会の委員の皆様にお世話になりながら検討を進め、11月に開催予定の第2回の本会議で素案を提示し、皆様にご議論いただきたい。資料の方は、なるべく早めに提示してたくさんご意見が寄せられるように努めてまいりたい。

### (質疑応答)

(座長)

ライフコースアプローチとはどのようなものか。

(事務局)

国の計画のいたるところで使用されているが、胎児期から高齢期に至るまで、生涯にわたる健康づくりを行うため、ライフステージに応じた取り組みをする必要があるという趣旨を含め、この言葉を使用しているものと思われる。

(座長)

女性の健康増進を重点的取り組みにしているが、女性のどの部分を取り上げているのか。

(事務局)

新たな指標として設定しているのが、女性の痩せの部分である。具体的な目標値としては、骨粗しょう症の検診の受診率を検討としてあげており、国としては痩せている女性の健康を気にしているところかと思う。

(委員)

女性の健康寿命が延びてなかった理由については、女性の痩せの部分も影響があるのか。健康寿命と平均寿命の差が11.17と広がってしまっている。痩せすぎも影響しているのか。

(座長)

まだ検証しないと分からない部分かと思う。データとしては、がんなどの影響を除いても、痩せの人の方が、死にやすい傾向にある。

(事務局)

本県における健康寿命につて、男性は計画策定時と比較し、現状は平均寿命の伸びを上回っているが、女性は平均寿命の伸びを上回ることができなかったが、全国も同じような傾向にある。

(委員)

先日、日本健康・体力づくり財団直轄の研修会での講義を受けた際に、「20.30代の女性の歩数が他の60.70代の歩数向上に比べ、減少していることで、体力の低下が危惧され、しいては出産・子育て等への影響があるので項目として加わった」との話が合った。なぜ、女性がさ

れたのかとの話があったため、情報提供をさせていただく。

## (2) 健康増進施策/地域・職域連携推進協議会について

事務局から、資料2に基づき説明。

- ・資料2 健康増進施策/地域・職域連携推進協議会について
  - ・令和5年度関連予算
  - ・地区地域・職域連携推進協議会
  - ・健康寿命延伸対策

### (質疑応答)

(委員)

受動喫煙防止、禁煙支援等で県の取組概要を拝見すると、県と保福で保健医療従事者の質と向上として学生のための喫煙防止講習会、若年者喫煙防止講習会等あるが、企業には新入社員でたばこを吸わない人が、周囲の人に流されて吸い始める傾向もある。

産業保健のスタッフなども講師の認定資格などいただければ身近なところでたばこを吸うという部分を止められるかと思うので。計画あるか。

(事務局)

健康長寿社会づくり推進課では、禁煙支援や受動喫煙防止対策に関する研修会を実施しており、その際に職域の方にも幅広く声をかけたい。

(委員)

工場勤務だとスマホや時計を持って業務ができない。何らかの改善策はないか。

(事務局)

工場勤務などでは、自分の意志で歩数を増やすことは難しい場面が多いと思う。仕事を離れた場面での歩数チェックなどで活用いただければと思う。

(座長)

後日入力できるような機能はないか。

(事務局)

そのような機能はない。

(委員)

市町村でも首長がたばこを吸うところはなかなか禁煙対策がすまない。こういったところに対しても今後働きかけをしていければいいと思っている。

(委員)

喫煙対策っていうのは、本当に粘り強く、根気強く対応して行くものだと思っている。すぐに対応できなくても、いずれ変わっていく世の中になって行くと思うので、それを信じて粘り強く仕事していきたい。

## (3) 食育推進施策について

事務局から、資料3に基づき説明。

資料3 食育推進施策について

- ・令和5年度関連予算
- ・第4次群馬県食育推進計画
- ・食育デジタル教材

(事務局)

食育推進計画の三つの基本方針の一つである「デジタル化に対応した食育を推進する」新た

な取り組みを始めた。パソコンやスマートフォン、タブレットなどのデバイスで、いつでもどこでも印刷物のように横にページをめくったり、送ったりしながら、くりかえし読んだり、書き込んだり楽しみながら食育を実践できる教材となっている。

市町村の食育の教室や幼稚園や保育所、子ども園等の食育活動でのデジタル資料、学校の授業や食に関する指導でのデジタル教材、そして家庭で子供と一緒に楽しみながら使っていただきたい。

#### (質疑応答)

(座長) 質問あれば。

(委員) 特になし

#### (4) 令和4年度の推進状況(各所属の取組)

##### ●群馬産業看護研究会 福平委員

資料4(29ページ)に基づき説明

##### <メンタルヘルスについて>

コロナが開けても職員同士のコミュニケーションはどうしても減っており、メンタルヘルス不調が増えているなという印象がある。

従業員は圧倒的に男性が多いが、男性の居場所というところで会社が辛くなってしまうと居場所がない方が多い。

国の健康増進とかの考えで女性の健康増進の話があったが、男性も特に心の健康問題のところでは課題があると感じる。

何もしない場や弱音を吐ける場、助けてと言える教育などの取り組み、アプローチ方法を聞きたい。

##### <生活習慣病の改善>

歯がなくなると肥満が増えるということも教育の中で取り入れたり、例えば歯がなくなると、外に出て行くのも嫌になるコミュニケーションをするときに、歯がなくなってしまうと、それだけで滑舌が悪くなったり、見栄えが悪くなったりで人の輪の中に入れられないということも聞いたので、色々な政策が人間の心と体に影響しているのだと感じている。

#### (返答)

(幹事)

昨今、メンタルヘルス領域では国の施策も含めて、かなり全領域で相談をきちっと受ける能力を高めると言うことをやっている。先ほどの話も出たが、ライフコースアプローチで周産期から高齢となるまですぐ医療に繋げることばかりを考えてしまうが、保健、対人援助職が適切に受け止める能力を高めるゲートキーパーなど人の育成を行っている。そんなところも検討したらどうか。

(委員)

口腔機能の低下に伴って食事が取りにくくなったり、見た目によって、その外出を控えたり、社交性が低下することは、歯科、オーラルフレイルには重さがあるかと思う。

また、おそらく若い世代の歯の喪失の方が肥満につながっている要因として、硬いもの食べられないことが炭水化物の重ね食いにつながり、肥満となると推測される。

県の医師会の方の多職種の中の話でも、栄養と歯科、リハビリ、フレイル、サルコペニアも含め、痩せ筋肉の低下等に対応等、協力をしていく必要があるという見解になっている。

## (5) 報告・情報提供について

- ・第3次群馬県歯科口腔保健推進計画 骨子  
事務局から、資料5に基づき説明。

### (質疑応答)

#### (座長)

骨子に記載のあった地域格差についてはどういったものに起因するのか。歯科医師の数に影響を受けるものか。

#### (事務局)

ライフステージによって変わってくる。医療的インフラの問題もあるが、学校での指導、社会的要因、経済的な状況などでも加わってくる。

## (6) その他

### (委員)

ベースラインの設定について、意外と大事であり、数年経過した後に、例えば他県との比較する場合もあるので議論した方がいいかと思う。

### (座長)

ベースラインの設定のタイミングについて、国と同じようにするのか重要なことだと思う。他県と設定が変わっていたら比べられない。事務局どうか。

### (事務局)

ベースラインの考え方については、他県の状況もよく見ながら素案の段階で皆さまの考え方と合わせてご提示したい。他県との比較というのは、非常に大事なご指摘かと思うので、その辺も踏まえて提示したい。

## 6. 閉 会